

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	東予森林計画区（とうよ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>東予森林計画区は、愛媛県東部に所在する8,980haの国有林野を対象としている。 当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。 本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>0(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	0(ha)		保育面積	2(ha)	路網整備	開設延長	0(km)		改良延長	0(km)
森林整備	更新面積	0(ha)													
	保育面積	2(ha)													
路網整備	開設延長	0(km)													
	改良延長	0(km)													
費用対効果分析	総費用（C）	366千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>2,618千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>908千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>189千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>756千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,471千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	2,618千円	山地保全便益	908千円	環境保全便益	189千円	木材生産便益	756千円	森林整備経費縮減等便益	0千円	計	4,471千円
	水源かん養便益	2,618千円													
山地保全便益	908千円														
環境保全便益	189千円														
木材生産便益	756千円														
森林整備経費縮減等便益	0千円														
計	4,471千円														
分析結果（B/C）	12.22														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した方法による保育が検討されており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	東予
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	1,036		1,036	
	流域貯水便益	368		368	
	水質浄化便益	1,214		1,214	
国土保全便益	土砂流出防止便益	908		908	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	189		189	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益			0	
	木材利用増進便益			0	
	木材生産便益(森林整備分)	756		756	
	木材生産便益(路網整備分)			0	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益			0	
	作業道作設経費縮減便益			0	
	治山経費縮減便益			0	
	森林管理等経費縮減便益			0	
総便益額 (B)		4,471	0	4,471	
総費用額 (C)		366		366	
費用対効果分析 (B) / (C) =				12.22	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。